

コモ、Como

ミラノの北、漢字の「人」の形をしたコモ湖の中心都市です。スイスとの国境はもうすぐそこです。ここはコモ県の県庁所在地で、「湖畔の街」というよりは「湖畔の古い都市」です。城壁に囲まれた旧市街には古く狭い町並みも多く残っています。その中心のドゥオモはとても豪華ですし、ここには時間をかけて見たい多くの彫刻やタペストリーがあります。この旧市街を抜けると真っ青なコモ湖に出会えます。緑に囲まれたとても美しい景色がひろがっています。昔も今も保養地として賑わう場所です。ミラノから列車で1時間ということもあり、手軽に行ける代表的な避暑地のようなようです。もちろん湖畔の街をめぐる遊覧船もあります。

写真：





コモへはカドルナから列車で1時間です。1時間に約2本の列車が出ています。料金は3.6ユーロ。週末には切符売り場は混んでいますので、時間の余裕を持ってカドルナ駅に行ったほうがよいでしょう。自動販売機は早いのですが、壊れていることが多いので、どうしても切符売り場に人が集中してしまいます。自動販売機がちゃんと壊れていないときは、自動販売機で切符を購入したほうが楽です。英語表示もちゃんとあります。列車は、Trainitalia よりもずっときれいですし、中にはエアコンの付いている列車もあります。列車からは終点の Como Lago 駅で降ります。皆、ここで降りるので間違えることはありません。

Como Lago 駅の出口は列車の進行方向の先にあります。出口を出るとコモ湖が見えます。湖沿いを歩くと遊覧船乗り場があり、そこがカヴール広場です。カフェと土産物屋があり、観光客がいっぱいたむろしていますので、まるで箱根の芦ノ湖の雰囲気です。カヴール広場から湖と反対側に行くとドゥオモ広場があり、右側にヴォルタ広場があります。この3つの広場がコモの中心です。観光客目当てですので、カフェの値段もちょっと高めですが、仕方のないところです。陸上の観光の見所は、この周辺に固まっています。湖の遊覧もここから船に乗ります。レストラン・カフェがいっぱいあり便利なところです。ホテルもこの周辺に固まっていますので、湖畔の街を遊覧する場合は、ホテルに1泊するのが良いと思います。3つ星ホテルでも、なかなかいい感じですよ。これらの広場の周りは石畳の道で、狭くて中世の雰囲気が残っている路地も結構あります。また、ドゥオモ広場の先は、ブランド店が並んでいます。